

教科	公民	科目	公共	履修学年	1年
単位数	2	科・系	全科	担当者	

教科・科目の目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書・教材等	公共（東京書籍） 公共ワークノート（東京書籍） 独自プリント
評価の観点とその方法	<p>評価の観点</p> <p>現代の諸課題に対する知識・技能 現実社会の諸課題解決に向けての思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>評価の方法</p> <p>提出物（公共ワークノート・プリント等） 小テスト 定期考査（年5回） 以上を参考に総合的に行う。</p>
学習方法・学習形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目全体を通して、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養うとともに、考察、構想したことを説明したり、論拠を基に自分の意見を説明、論述させたりすることにより、思考力、判断力、表現力を養う。</li> <li>・資料から必要な情報を読み取らせて解釈させたり、議論などを行って考えを深める。</li> </ul>
留意点その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校社会科及び特別教科である道徳、高等学校公民科に属する他の科目、地理歴史科、家庭科及び情報科並びに特別活動などとの関連を図るとともに、項目相互の関連に留意しながら、全体としてのまとまりを工夫し、特定の事項だけに偏らないようにする。</li> <li>・キャリア教育の充実の観点から、特別活動などと連携し、自立した主体として社会に参画する力を育む。</li> </ul>

令和6年度学習進度予定表

期	月	学習項目	学習内容	到達目標		
一学期	4月	第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会に生きる青年</li> <li>・社会的な関係のなかで生きる人間</li> </ul>	<p>青年期の特徴と発達課題、及び人間の在り方について理解するとともに、自己形成及び社会形成に主体的に参加することの意義について考察する。</p>		
	5月	第2章 公共的な空間における人間の在り方			<ul style="list-style-type: none"> <li>・功利主義と幸福の原理</li> <li>・義務論と公正の原理</li> </ul> <p>生命倫理や環境倫理にかかわる課題について、功利主義や義務論の視点から考察し議論する。</p>	
	6月	第3章 公共的な空間における基本的原理			<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間における協働とは</li> <li>・民主主義とは</li> <li>・立憲主義とは</li> <li>・人権保障の意義と展開</li> </ul>	<p>公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解する。</p>
	7月					
夏季休業						
一学期	9月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治と政治参加</li> </ul>	<p>政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の表現の観点から理解する。</p>		
	10月	第2章 法の働きと私たち			<ul style="list-style-type: none"> <li>・法や規範の意義と役割</li> <li>・市民生活と私法</li> <li>・国民の司法参加</li> </ul> <p>法の意義と役割、消費者の権利と義務、司法参加などにかかわる課題について考察し表現する。</p>	
	11月	第3章 経済社会で生きる私たち			<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の経済と市場</li> <li>・市場経済における金融の働き</li> <li>・財政の役割と持続可能な社会保障制度</li> </ul>	<p>経済のしくみや動向についての基礎的理解を基礎に、経済政策、財政や金融に関する政策課題、社会保障にかかわる課題について関心を持って考察し追求する。</p>
	12月					
冬季休業						
三学期	1月	第4章 私たちの職業生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義と職業選択</li> <li>・労働者の権利と雇用・労働問題</li> </ul>	<p>資本主義社会における労働契約、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、実際の職業や労働の在り方とのかかわりも含めて理解する。</p>		
	2月	第5章 国際社会のなかで生きる私たち			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会のルールとしくみ</li> <li>・国際社会と平和主義</li> <li>・国際平和への課題</li> <li>・グローバル化する国際経済</li> </ul> <p>国際政治、国際経済にかかわる諸課題について理解し、多面的・多角的に考察する。</p>	
	3月	第3部 持続可能な社会づくりに参画するために			<ul style="list-style-type: none"> <li>・探求のイメージをつかもう</li> <li>・探求プロセス</li> </ul> <p>現代社会の諸課題について、探求的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集し、考察する。</p>	
春季休業						